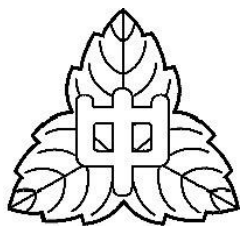


令和4年度 牧中学校だより



学校HP <http://www.maki-j.jorne.ed.jp/>

柏葉

第11号

令和5年3月20日発行

上越市立牧中学校

TEL 025-533-5023

FAX 025-533-5063

第76回卒業証書授与式

3月3日（金）、第76回卒業証書授与式が行われました。7名の卒業生は一人一人の呼名のあと、校長から証書を受け取りました。卒業生は証書を受け取った後、自分の言葉で今後の決意を発表しました。在校生や保護者、ご来賓の皆様にはしっかりと自分の思いを伝えていました。その後PTA会長の思いが込められた「祝辞」、3年生への感謝の気持ちを綴った在校生からの「送辞」、生徒会長から家族、仲間、地域、学校へ感謝の気持ちが込められた「答辞」、そして卒業生と在校生による卒業記念合唱「正解」を歌い終え、退場の時を迎えました。達成感に満ちあふれた表情の卒業生や目に涙を浮かべる卒業生を盛大な拍手で送り出し、素敵な卒業証書授与式が幕を閉じました。本年度の卒業証書授与式も昨年度同様に、感染リスクを低減させるために人数制限などの様々な方策を講じました。卒業生のご家族および地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、改めてお詫びを申し上げます。また、ご来校いただいたご来賓の皆様、ご多用中のところ参列いただきありがとうございました。



式辞(抜粋)

只今、卒業生に卒業証書を手渡すことができました。一人一人の表情に牧中学校の卒業生として、喜びの晴れやかさとともに、新たな人生への出発の決意が感じられ、とても嬉しく思いました。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

皆さんは、只今、義務教育終了という、人生で最初の大きな「節目」の日を迎えました。なぜ「節目」となるのか考えてみます。三つあります。第一に、これからは、周りから一人前の「大人」とし

校長

て扱われ始めるという事です。もはや「子どもだから」という言い訳は通用しなくなるからです。第二に、社会人として、自分の行動に責任を問われるようになります。お家の方や周りの大人がフォローしてくれることがどんどん少なくなっていくからです。第三に、社会の一員としての当然の義務を果たすことを求められるようになります。今まで学んだことを、これからは社会に返すことが求められるからです。今、皆さんにお渡しした卒業証書は、義務教育を終えたという証明書というだけでなく、今後社会に参加することの許可証であると思ってください。卒業が人生の「節目」であるというのは、いま述べたようなことからなので、胸に留めておいてもらいたいと思います。



ここで、皆さんが今後歩いていく社会を考え、二つのこととお話したいと思います。

一つ目は、ソサエティ 5.0 超スマート社会についてです。AIの発達に伴い、私たちの日常生活は、大変便利になってきています。確かにAIの力は凄いものがあります。今後、今ある職業の半分くらいがAIに変わると言われています。皆さんが社会に出て勤める頃には、会社内の課長が人間でなくAIを「課長」と呼ぶ時代になるかもしれません。AIの頭脳の基本は、今まで人がとことん追求してきた能力が集積されたものなのです。皆さんには「夢や希望を実現するために、あきらめずにとことん追求してほしい」と思います。辛くなったり迷ったりした時には「ようこそ先輩ミニ講演会」での学びを思い出してください。

二つ目は、人生100年時代についてです。医学などの進歩で、今は人生100年時代と言われています。とはいえ、全ての人間が100歳まで生きられる訳ではなく、人によって何歳まで生きられるかは違います。年数は違いますが、誰でも人生は一度だけです。その人生をどう生きるかが人として大切な事だと私は思います。単に100歳まで生きればいいでなく、いかに自分に与えら



れた寿命を充実した日々として送ることができるかだと考えます。インド独立運動の父と言われる「マハトマ・ガンジー」は「明日、死ぬと思って生きなさい。永遠に生きると思って、学びなさい。」と言って、一日一日を大切にし、学び続けることの大切さを伝えています。ところが、人はコツコツと続けることが苦手な人が多いのが現実です。そこで、1学期の終業式で話をした「三日坊主のすゝめ」を思い出してください。三日続けて取り組むことは誰にでもできます。中

断しても「三日坊主」を繰り返すことで、「継続は力なり」につながります。人生100年時代は、学生時代だけに学ぶのではなく、一生学び続けることがとても大切で、価値があることだと考えます。

以上二点のことに取り組み、これからのソサエティ 5.0 超スマート社会、そして人生100年時代を力強く生きていってほしいと思います。

結びに、みずみずしい感性をもち、希望にあふれた卒業生の皆さんの前途に、幸多かれと祈念して式辞といたします。

令和5年度の教育課程について

現在、牧中学校では、来年度の教育課程について教職員間で意見交換を行っております。教育目標の「自立・共生」の具現化を図りながら、今年度に引き続き来年度も「挑戦」を重点目標として、教育活動を進める予定です。また、グランドデザインの3つの柱である「学力向上」「社会性育成」「健康体力向上」と柱の礎となる「夢を育むキャリア教育の推進」をベースに、「地域と共にある学校」を目指して教育活動を展開させたいと考えております。

◆来年度の教育課程について、現段階の決定事項を紹介します。

(1) 行事

体育祭 ⇒ 5月20日(土)に開催します。 ※暑さ対策のため、実施時期を早めました。

2年生の職場体験 ⇒ 7月4日(火)～7月6日(木) ※牧区内で実施予定です。

小中合同文化祭 ⇒ 11月3日(金・祝) ※午後に「MAKIフェス」を実施します。

(2) 校時表

放課後の活動時間及び完全下校時間を調整します。 ※バスの待ち時間を短縮するためです。

(3) 学習

テスト関連

ア) 定期テストから単元テスト(業者テスト)に切り替えます。

※生徒一人一人の学習状況を丁寧に見取ります。(「主体的に学ぶ態度」の評価)

※テストまでのスパンが短くなることで、家庭学習につなげやすくなります。その結果、家庭学習習慣の定着に期待ができます。(牧中学校の重要課題の改善)

※R5年度は、移行期間として「単元テスト」+「定期テスト(2回)」とします。

イ) テスト前の学習計画表の様式は生徒に任せます。

※R5年度は、移行期間として「モデル」を提示しながら、自分に合った計画表が作成できるよう支援します。

ウ) 「テスト前部活動停止期間」を廃止します。

※年間を通して波のない生活リズムをつくります。

家庭学習関連

ア) 家庭学習のデジタル化を進めます。(週の課題、長期休業中の課題等)

※オンラインでの指導、支援が可能となるよう取り組んでいきます。

イ) ICT及びデジタル教材を活用します。

※学び直しの機会として、一人でも家庭学習に取り組めるよう学習環境を整えます。

(4) 部活動 ※別紙「来年度以降の部活動のあり方について」をご覧ください。

ア) 休養日は、週休日、月曜日、金曜日の4日とします。

※平日の休養日については、バス時間までの時間を学習支援や学級・生徒会活動等、多目的な活動への時間として活用します。

イ) 部活動結団式を廃止し、壮行式のスリム化を図ります。

※壮行式は、選手の決意表明、生徒代表の激励の言葉、全校生徒による拍手とします。

心に残る「三送会」

2月17日（金）の5・6限に三送会が行われました。前半は、1・2年生によるパフォーマンスが発表されました。思い出のスライドショーや旧職員によるビデオレター、絵伝言ゲームなど、思い出に残る楽しい内容でした。後半は、3年生の代表挨拶と返礼の意味を込めてのパフォーマンスが披露されました。3年生らしく、笑いありドッキリありのアイデア満載の内容（動画）でした。1・2年生の皆さんのおかげで、3年生の皆さんは中学時代の思い出として、心に刻まれたに違いありません。優しい笑顔で後輩たちのパフォーマンスを見ている3年生の姿がとても印象的でした。



今年度最後の「全校レクリエーション」

2月20日（月）の5時間目と放課後の時間を使って、全校生徒が楽しみにしていた全校レクリエーションを実施しました。内容は、バレーボールとバドミントンでした。担当の委員会はゲームの進行だけでなく、用具の準備や片付け等で指示を出し、円滑に作業を進めていました。3年生と一緒に活動できる最後のレクリエーションということもあり、歓声と笑顔あふれる素敵な時間になりました。



4月の予定

日	曜	行事等
1	土	年度始休業 ～6日（木） ※4/1～6 部活動なし
7	金	新任式・始業式8：30 入学式準備 弁当持参 入学式14：00 PTA入会式15：10
10	月	給食開始 課題テスト PTA 役員会 PTA 常任委員会
11	火	知能検査（1年） 生徒会入会式
12	水	全校集会
13	木	NRT 標準学力検査（国数英） 尿検査1次
14	金	NRT 標準学力検査（社理）

日	曜	行事等
17	月	発育測定
18	火	3年生全国学力・学習状況調査 （国数英質）
19	水	全校集会 耳鼻科検診
20	木	眼科検診
24	月	生徒総会
28	金	授業参観 SNSトラブル防止講演会 PTA 総会

